

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	体験と交流の森づくり事業	会計	一般会計	事業No.	442	施策順No.	52-007	
		事業種別	政策・その他	予算科目	6-2-2-27-3			
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり			課等名	林務課			
施策	52 身近な自然と生活環境の改善			事業期間	開始	14	終了	22

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	市民が里山林整備や体験交流活動に参加することにより、荒廃した里山林の保全管理を図る 市民の森林(里山)に対する認識、意識を変える							
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績		23年度目標
		飯田市の人口(人) (H22.10.1推計人口)		106630	105691	105036	105036		A
		活動人数(人)	100	160	200	100	150	100	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	十分な成果があり目標を達成できた。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	市内の森林において市民参加による森づくりを行なうことにより、森林環境の育成や森林資源の有効活用を推進する事業。 国有林の造林事業、獣害防除及び治山事業の見学会の実施		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	市民参加の森づくり事業 未来の森づくり事業(枝打・間伐作業体験)等	市民参加事業(回数)	3回、参加者150人
23年度実施計画	54施策 森林ふれあい事業へ統合		

3 事業コスト

事業費	(千円)				特定財源内訳、補足事項
	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額		
特定財源	国庫支出金				
	県支出金				
	起債				
	その他				
一般財源	100	100			
計(A)	100	100	0		
	正規職員所要時間				
	臨時職員等所要時間				
	人件費計(B)		0		
	トータルコスト A+B	100			

4 事業に対する市民や議会の意見

地域や市民自らが森林保全に関わり、活動する機会を設けて参加したい声がある。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	水や緑が守られ増える	施策の成果指標又はムトス指標	身近な自然が守られていると感じる市民の割合 市内の河川の水生生物の分布数
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	国土保全、水源涵養など森林は多面的な機能をもっており、参加者に森林整備の重要性の理解と獣害等の現状と防護対策の取組として効果があった。		
	後期に向けた課題	枝打ち等保育事業を実施するに当たって実施場所の確保が必要である。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	小学生、中学生や一般市民の公募、企業の参加による取組により理解を得られている。		
	後期に向けた課題	実施場所の確保が必要である。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	国土保全、水源涵養など森林は多面的な機能をもっており、参加者に森林整備や獣害等の理解を得るために適切であった。		
	後期に向けた課題	国土保全、水源涵養など森林は多面的な機能をもっており、参加者に森林整備や獣害等の理解得るために適切であった。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	小学生、中学生や一般市民		
	後期に向けた課題	小学生、中学生や一般市民		
全体を通じて	4年間の振り返り	参加者に森林整備や獣害等の理解得るために継続して実施する。		
	後期に向けた課題	参加者に森林整備や獣害等の理解得るために継続して実施する。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------